クラス	506	担当教員	鈴木 健司（すずき けんじ）
		テーマ	日本の財政について考えよう
		著書･論文 研究課題等	共著：「行政評価の有効化に関する研究-評価と計画･予算との連動の実態-」『日本福祉大学経済論集』（2007） 単著：「地方公共団体の非裁量的事業額の推計」『日本福祉大学経済論集』（2007） 単著：「今後の法人事業税のあり方について」『地方財政』財団法人地方財務協会（2007） 単著：「国庫支出金の一考察－国庫補助負担金の改革を中心として－」『知多半島の歴史と現在』日本福祉大学知多半島総合研究所（2007）

ゼミナール 概 要

キーワード：

目的、内容、方法等：

＜ゼミナールの目的＞

日本の財政や地方財政の現状を把握し、問題点について議論を行います。ゼミナールの最終目的は、皆さんなりに考えた日本財政や経済についての考察を深めた卒業論文を作成することです。ただ、いきなり卒業論文を作成できる訳ではありませんので、2 年生からステップを踏んで学習を進めていきます。

＜ゼミナールの内容とねらい＞

ゼミナールでは、日本の財政問題をテーマとして取り組んでもらいますが、 あわせて論理的な思考を養うことも目標とします。論理的な思考を行うためには、調査能力・分析能力・表現（プレゼンテーション）能力の向上が欠かせません。近年ではインターネットの普及により各種データなどの情報に接することができます。しかしながら、必要とされる情報を的確に集めることは容易ではありません。また、せっかく集めたデータを分析できなければ意味がありません。さらに調査・分析を通じて得た意見や主張も、説得力のあるプレゼンテーションを行わなければ徒労に終わってしまいます。これら調査・分析・表現能力を磨くために、ゼミナールでは発表や報告、そして議論を中心に進めていきます。

＜学習方法＞

基本的には、テキストの輪読、調べたことの発表や報告、そして議論を行いながら学習を進めていきます。各学年でこれらの学習の成果であるレポートを作成しますが、これは前述した卒業論文作成のトレーニングとして考えて下さい。なお、ゼミではパソコンを積極的に利用しますので、各自でエクセルやワードのようなソフトに慣れておいてください。もちろん、ゼミでもパソコン実習を行いますので、各種ソフトに慣れていない人にも配慮します。

授業計画：

2 年生前期：テキストの輪読、発表

後期：財政に関することで調査を行い、それをもとにレポートを作成する。

3 年生前期：財政に関することで、調査・研究を行う。

後期：12 月に開催される経済学部ゼミ発表会に参加し、レポートを作成する。

4 年生　　：卒業論文を作成する。

使用テキスト	担当教員からのメッセージ
林宜嗣(2008)『地方財政［新版］』有斐閣	流されるまま 1 年生を過ごしそうだが、2 年生からはがんばりたいと思う人で、「やる時は徹夜でもやる」というタフさを持っている人を歓迎します。